

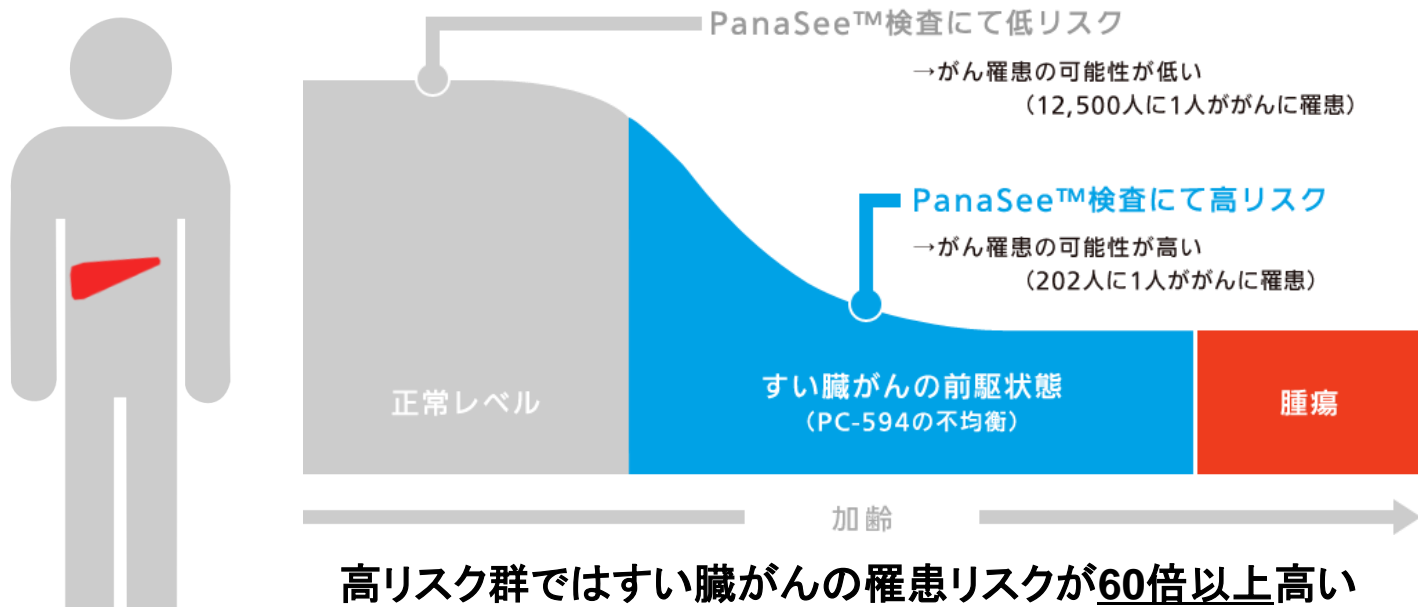
すい臓がんのリスク検査 PanaSee™ (パナシー)

< PanaSee™ (パナシー)検査とは? >



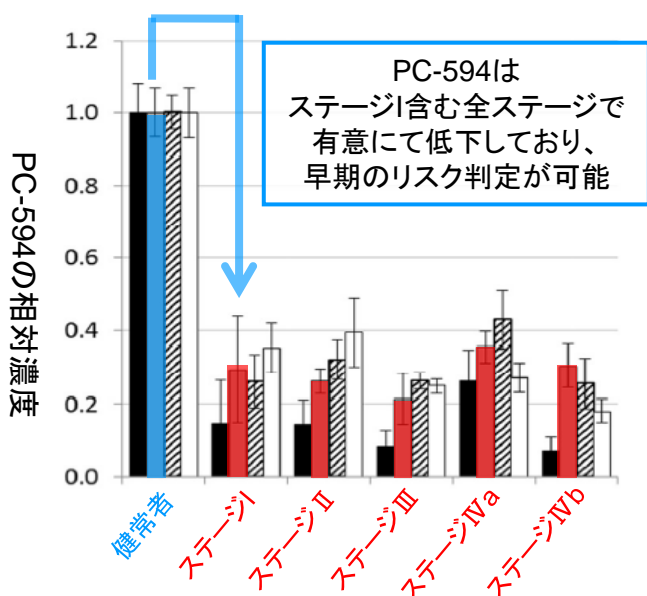
すい臓がんのリスクを調べる血液検査です。

すい臓がん患者の血中で特異的に減少する、長鎖脂肪酸”PC-594”という物質を測定し、すい臓がんのリスクを判別しています。採血のみの簡単な検査で、早期治療へのきっかけとして利用頂くことが可能です。



< PanaSee™ 検査のメリット >

PC-594はステージ I から減少するため、すい臓がんの早期発見に役立ちます。全ステージのがんに対して感度87%、早期がんに対しても感度86%で判別可能です。CT、MRI、超音波内視鏡に比べて手軽であり身体的負担が少なく済みます。



PanaSee™ 検査の受診で
早期発見が可能になります

高精度なリスク判定
採血のみで手軽に検査

早期に精密検査実施

早期発見・早期治療へ

PanaSee™ 検査をスクリーニングに用いることで
すい臓がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です。

<報告レポートイメージ>

検査はPC-594の濃度解析を行い、A3見開きの紙面レポートにて報告致します。結果は高リスク、低リスクにて判定を行います。報告書には測定物の長鎖脂肪酸PC-594に関しての解説とすい臓がんを予防するための生活習慣に関するヒントを記載しております。高リスクの方に推奨している精密検査の内容を紹介しております。

受診ID: 9950 性別: 男性
 受診日: 2017/6/1 年齢: 50

PanaSeeテストの結果、あなたのPC-594の値は **正常値未満** ですい臓がんのリスクは **高リスク** と判定されました。

PC-594測定値	リスク判定結果	正常値範囲
1.0 μmol/L	高リスク	低リスク 1.1μmol/L以上 高リスク 1.1μmol/L未満

PanaSee検査では、PC-594という脂肪酸の濃度を測定しています。PC-594はすい臓がんに対しての防御作用や抗炎症性の作用を持っていると考えられています。臨床研究から、PC-594の値が正常の範囲より低い方は、すい臓がんのリスクが高いこと、PC-594の値が正常の範囲内の方はすい臓がんのリスクが低いことが示されています。

総合評価コメント

今回の検査結果ではPC-594の数値が低下しており、すい臓がんのリスクは高い状態であると判定されました。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

※本検査は疾患の診断を行うものではなく、検査結果は疾患の発症および進行、生活習慣改善の方法を確定させるものではありません。

◆PC-594濃度とすい臓がんのリスクについて

PC-594はすい臓がん患者で特異的に減少することが明らかになっており、高リスク群では低リスク群に比べ約60倍のリスクを有していることが分かっています。なお、PC-594は一度減少すると回復しないとされています。

◆PanaSee検査で高リスク判定だった方に

すい臓がんは進行が非常に早く、自覚症状も少ないがんとして知られています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門家の受診や精密検査の実施をおすすめしています。

CT検査

X線とコンピュータを使用し、すい臓の画像を撮影する検査です。病変の大きさや位置や広がりや精密に観察することができます。静脈注射で造影剤を入れてから行う「造影CT検査」では、リンパ節や周囲の臓器への浸潤の程度をより分かりやすく映し出します。

MRI(MRCP)

強力な磁気を用いて、断面写真を撮影する検査です。MRCP(MR胆管造影)ではすい臓の中心を通る「胆管」や、胆汁を運ぶ「胆管」を中心に非侵襲的に撮影することができるとされています。

超音波内視鏡

超音波装置を先端につけた内視鏡を用いて行う精密検査です。体表からの腹部超音波検査と違い、対象となる部位に近い位置で行うことができます。

参考: 日本膵臓学会 科学的根拠に基づく 膵癌診療ガイドライン2013年版より

解析・測定: MLD Med-Life Discoveries LP. 販売: NKmedico NKメディコ株式会社

※PanaSee™はカナダ及び他の国々で登録されたMLD社の商標です。

検査項目名	PanaSee™(パナシー)
検体量	血清 0.5 mL
容器	血清分離剤入採血管
保存(安定性)	冷蔵
報告期間	30日
測定・解析機関	MED-LIFE DISCOVERIES LP (MLD)
検査方法	質量分析法
備考	PanaSee™はすい臓がんのリスクを判定する保険未記載の検査です。PanaSee™の結果のみですい臓がんの有無を判定する検査ではありません。他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めいたします。

参考文献:

- Shawn A Ritchie ,et al, Metabolic system alterations in pancreatic cancer patient serum: potential for early detection. BMC Cancer. 2013 Sep 12;13:416. doi: 10.1186/1471-2407-13-416.
- Shawn A Ritchie ,et al, Pancreatic cancer serum biomarker PC-594: Diagnostic performance and comparison to CA19-9. World J Gastroenterol 2015 June 7; 21(21): 6604-6612.